

## 福島県田村市こども未来課

【総人口】31,752人

【主担当部局】田村市保健福祉部こども未来課  
(保育所・幼稚園・認定型こども園担当)

【主な関係部局】田村市教育委員会学校教育課  
(公立幼稚園・小学校・中学校担当)

【自治体 関連URL】<https://www.city.tamura.lg.jp/>

	幼稚園			保育所		幼保連携型 地域裁量型		小学校		
	国立	公立	私立	公立	私立	公立	私立	国立	公立	私立
施設数		5		4	1		1		7	
園児・ 児童数		143		84	146		321		1343	

令和8年3月1日時点

事業実施地域・ 協力園校	【実施地域】 田村市
	【協力園校（数）】 幼：公立幼稚園（3園）、公立こども園（2園）、私立認定こども園（1園）、私立保育園（1園） 小：公立小学校（7校）

## 福島県田村市子ども未来課

### 〈事業実施の背景〉

本市の不登校・いじめの件数は増加傾向にある。不登校の要因は特別な支援を必要とする場合、家庭教育の困難さがみられる場合、学業不振や友人とのトラブルをきっかけになっている場合、ゲームや動画視聴等で生活が昼夜逆転している場合など様々であり、多様化してきている。また、いじめの内容については、「悪口・陰口・冷やかし・からかい・嫌なことをいう」が一番多く、全体の5割を占めている。

### 〈事業実施の目的〉

小学校、家庭での取り組みに加え、幼児教育の質の向上及び幼保小の接続による段差のない就学にむけての取り組みを行うことで、不登校・いじめの件数が減少、更には、いじめの未然防止につながると予想し、幼児教育の質の向上及び幼保小連携の推進について取り組み、効果検証を行うことを目的としている。

### 〈事業実施体制〉

会議体 「田村市幼保小 接続による不登 校・いじめ対策等 に関する調査研 究委員会」	【会議委員人数】 11名	【開催数】 計2回
	【委員属性】 教員養成大学教授1名、県幼児教育センター職員1名、市SSW1名、公立中学校長1名、公立小学校長1名、公立幼稚園長1名、私立認定子ども園副園長1名、公立保育所長1名、私立保育園園長補佐1名、市教育委員会学校教育課長1名、市保育所・幼稚園・認定型子ども園担当課長1名	

### 〈令和7年度 事業内容〉

- ① 幼児教育施設における登園渋りの実態調査
- ② 幼児教育施設における子ども同士のトラブル等の実態把握
- ③ 小学1・2年生、4・5歳児保護者、1・2年生保護者、保育施設・小学校教職員を対象とした意識調査

## 福島県田村市子ども未来課

### 〈事業の成果1〉

#### ① 幼児教育施設における登園渋りの実態調査

市内幼稚園、保育園、認定こども園の4・5歳児で実施。幼児期での登園渋りが確認された。理由としては、母の出産や兄弟の不登校、生活習慣の乱れ等の家庭要因の他、友達とのトラブル、就学への不安、行事への苦手意識などが挙げられた。

#### ② 幼児教育施設における子ども同士のトラブル等の実態把握

市内幼稚園、保育園、認定こども園の4・5歳児で実施。経過とともに教職員の関わり、トラブルの背景についての記録を行った。背景要因に目を向けると、家庭環境や子ども同士が今まで築いてきた関係性が作用している事例が多く、乳幼児期からの家庭環境や友達との関係など、子どもの育ちの過程を把握することの重要性が確認された。

#### ③ 小学1・2年生、4・5歳児保護者、1・2年生保護者、保育施設・小学校教職員を対象とした意識調査

(1) 「生活習慣」と「病気やけが以外での欠席」についての調査のクロス集計から、生活習慣が子どもの登園・登校渋りや不登校に影響を及ぼしていることが数値として表れた。

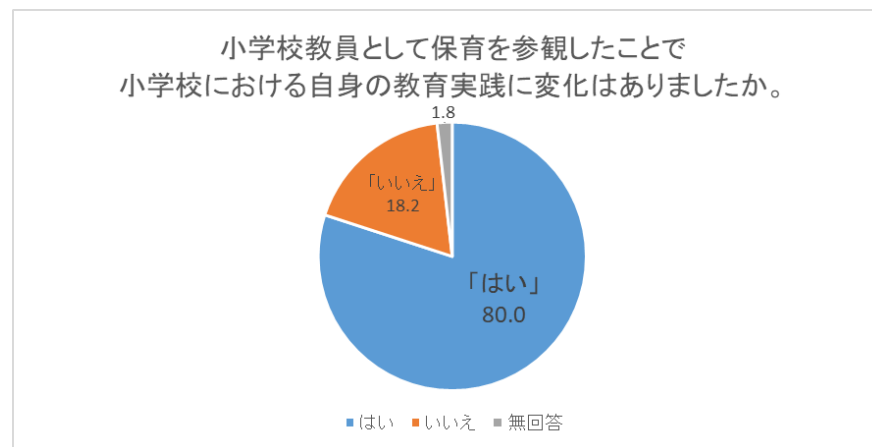
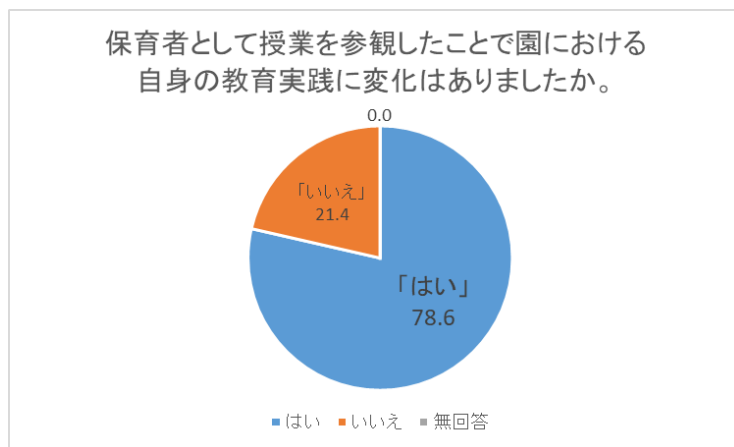
問.お子さんが病気やけが以外の理由で欠席した時はありますか。		はい	いいえ	無回答
朝食の摂取状況	毎日食べている n=283	10.2	89.8	0.0
	週5～6日食べている n=19	10.5	89.5	0.0
	週3～4日食べている n=8	25.0	75.0	0.0
	週1～2日食べている n=3	33.3	66.7	0.0
	ほとんど食べない n=3	0.0	100.0	0.0
平日のメディア機器の視聴時間	30分未満 n=16	12.5	87.5	0.0
	30分以上1時間未満 n=45	11.1	88.9	0.0
	1時間以上2時間未満 n=123	8.1	91.9	0.0
	2時間以上3時間未満 n=94	8.5	91.5	0.0
	3時間以上 n=38	23.7	76.3	0.0

問.お子さんが病気やけが以外で欠席した頻度はどれくらいですか。		毎日	週3～4日	週1～2日	月に数回	その他	無回答
睡眠時間	6時間未満 n=0	—	—	—	—	—	—
	6時間以上7時間未満 n=1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7時間以上8時間未満 n=7	0.0	0.0	42.9	14.3	42.9	0.0
	8時間以上9時間未満 n=18	0.0	0.0	5.6	27.8	66.7	0.0
	9時間以上 n=8	0.0	25.0	12.5	0.0	62.5	0.0
平日のメディア機器の視聴時間	30分未満 n=2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	30分以上1時間未満 n=5	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0
	1時間以上2時間未満 n=10	0.0	10.0	20.0	10.0	60.0	0.0
	2時間以上3時間未満 n=8	0.0	12.5	12.5	12.5	62.5	0.0
	3時間以上 n=9	0.0	11.1	22.2	33.3	33.3	0.0

## 福島県田村市こども未来課

### 〈事業の成果2〉

(2) 教職員の意識調査では、幼小の相互参観を通して自身の教育実践に変化があったと回答する教職員が約8割。幼小の教育について相互理解が進んでいることが確認された。



### 〈今後の取組みについて〉

- ① 今年度の意識調査の結果をもとに保護者への生活習慣の改善の啓発を行うとともに、子どもの生活習慣改善に向けて教職員と家庭との連携を図る。
- ② 公開保育の実施及び実施後協議や幼保小合同の事例検討、ワークショップ等の実践的な研修を行うことで、幼児教育の質の向上並びに幼児教育・小学校教育の相互理解を促進する。
- ③ SSWによる市内保育施設巡回を通して、乳幼児期からの子どもを取り巻く環境（家庭環境、子ども同士の関係等）について把握する。
- ④ 小学生・保護者・教職員を対象とした意識調査を継続して行い、実態や意識の変化を調査する。
- ⑤ 保育施設、小学校における登園・登校渋りの実態調査を行う。